

第1913号

2019年5月19日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

## 畠山和也氏 根室へ

日本共産党の前衆議院議員で参議院北海道選挙区予定候補の畠山和也氏が、5月8・9日根室入りし、党市議団の鈴木一彦、橋本竜一議員とともに領土問題や漁業問題等の調査を行いました。



### 漁業者と懇談

ロシア200海里内でのサケマス流し網漁業が禁止、さらには昨年の日口地先沖合漁業交渉が越年したため、タラ漁まで断念せざるをえなかった状況について伺いました。

根室の「漁船」漁業は、これまで、春のサケマス漁に始まり、秋が旬のサシマ漁、そして冬のタラ漁と年間サイクルが確立しており、漁船員の通年雇用も可能でした。

ところが、サイクルが崩れてしまった今、漁業者はもちろん、製函、運輸、加工など関連業者にとっても死活問題です。領土問題の未解決が、根室の経済産業に大きな打撃になっています。

### 元島民の方と懇談

元島民のみなさんの平均年齢も84歳を超えて、一刻も早い領土返還の実現とともに、領土返還運動の継承が課題になっています。「北方領土」問題は、根室市をはじめとする隣接地域や元島民だけの問題ではなく、国の主権の問題であり、全国的な認識が必要です。

ロシアへの「配慮」なのか、安倍政権がこれまでの「日本の主権」「日本固有の領土」という表現さえ示さなくなっていること、元島民の方も残念な思い

を語られました。そして「やっぱり根室に来て島を直接見ていただくことが一番です」と繰り返し返されました。

根室市行政とJR問題、教育問題、漁業問題などについて意見交換

JR花咲線について、何より領土問題を抱える地域とつながる交通網をなくすことは、国として領土問題を軽んじているサインに受け止められるのではないのでしょうか。

教員不足の問題も、領土問題の影響が大きい漁業水産業も、国策の矛盾が集中している地域だからこそではないでしょうか。参院選で安倍政権に厳しい審判を下し、国の政治の転換を！



## 「戦争による領土奪還」発言の丸山議員は憲法違反、即刻議員辞職を！

日本維新の会は、日口領土問題について「戦争による領土奪還」に言及した丸山穂高衆議院議員を除名しました。丸山氏は自身のツイッターで「これより先の期間は無所属にて活動する」と記し、議員辞職は否定しました。

丸山氏は、10日から国後島の「ビザなし交流事業」に参加し、現地で訪問団の元島民に対し「戦争でこの島を取り返すことには賛成ですか。反対ですか」「戦争しないとうししようもなくなりましたか」などと発言。元島民から「戦争なんて言葉は使いたくない」と反論されたにもかかわらず、同様の発言を繰り返していました。酒に酔っていたといえます。

「北方領土」の返還をめぐって「戦争しないとうししようもなくないか」などと戦争をけしめられた丸山氏の発言は、領土

日本共産党市議団は、日口領土問題をはじめ紛争の平和的解決を確認した国際秩序を否定し、戦争放棄を定めた憲法9条に真つ向かす。憲法順守義務にも反し、国会議員として失格です。即刻、議員辞職すべきです。

日本の歴史的領土である千島列島がロシア領(旧ソ連領)にされたのは、「領土不拡大」という大原則を踏み外した不正な戦後処理によるものです。その不正を正す道理ある外交姿勢を欠いた安倍自民党の対口外交の行き詰まりの中で、「戦争」による「解決」という驚くべき主張が、安倍政権を補完する役割を果たしてきた国会議員の中から飛び出したことは極めて重大です。

維新の会は、「除名」とどまらず、丸山氏に対し議員辞職を勧告するべきです。(以上、しんぶん赤旗日刊紙5月15日付より抜粋)